



2014年9月10日

おきぎん県内景況・確報 2014年7月

-県内景況は、拡大している-

○個人消費関連

スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は「全店ベース」、「既存店ベース」はともに前年同月上回る。百貨店売上高も上回る。

家電卸出荷額…消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が続く中、太陽光パネルの接続保留などから前年同月を下回る。

新車販売台数…レンタカー需要の一部前倒しなどにより前年同月を下回る。

○建設関連

公共工事…公共工事請負金額は前年同月上回る。

住宅投資・建設資材…着工戸数は前年同月を下回り、生コン、セメントもともに下回る。

○観光関連

入域観光客数…22ヵ月連続で前年同月上回る。

観光施設入場者数…5ヵ月連続で前年同月上回る。

主要大型ホテル稼働率…シティホテル、リゾート、ビジネスのすべてで前年同月上回る。

ホテル客室単価・宿泊収入(推計値)…客室単価は前年同月上回り、宿泊収入も上回る。

○倒産・雇用

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

有効求人倍率…前月より上昇。

○生産関連

鉱工業生産(6月)…前月より低下。

大口電力使用量…前年同月上回る。

○物価関連…消費者物価指数は前年同月上回り、ガソリン(レギュラー、軽油)価格も上回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・確報(2014年7月分)

◎2014年7月 おきぎん「カトリア」景況図



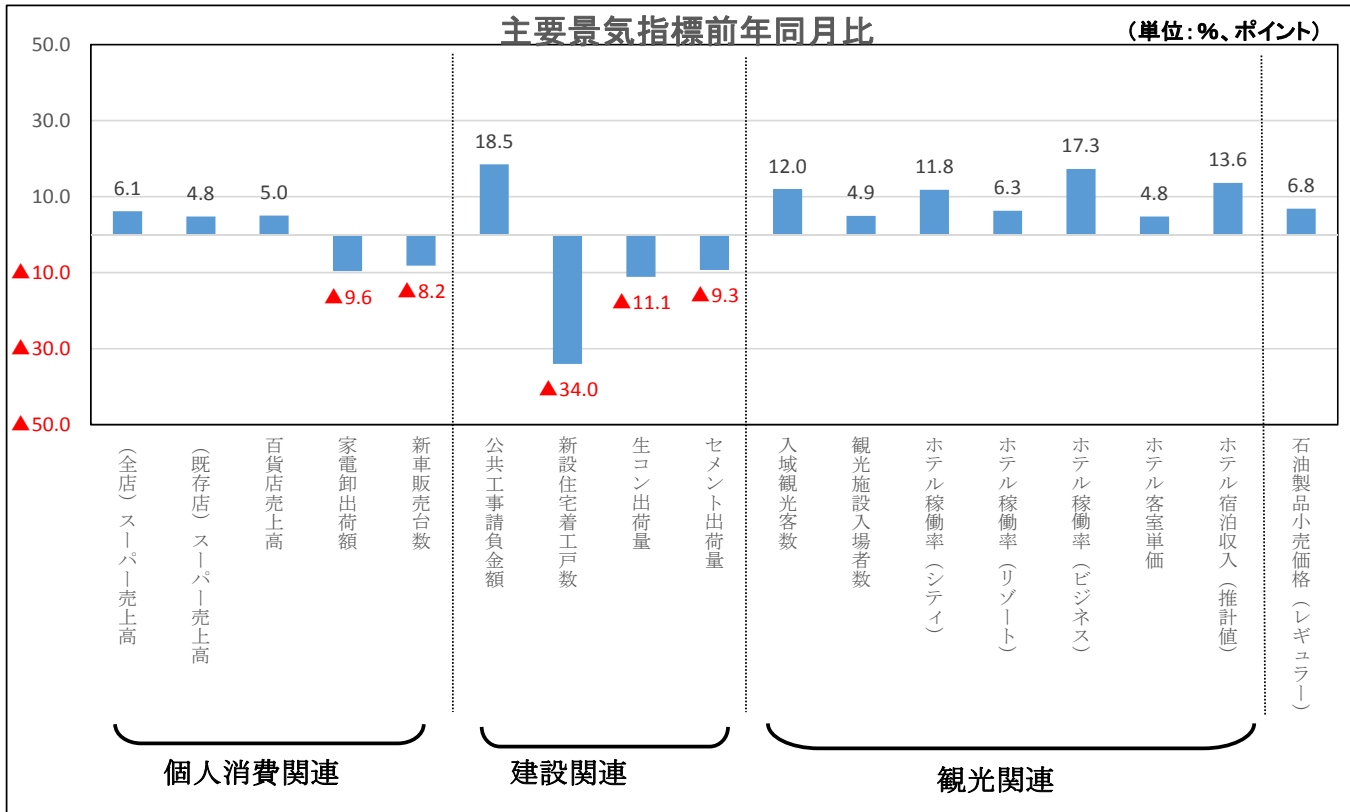
◎概況： 県内景況は、拡大している。

7月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月上回りました。百貨店売上高は食料品やその他衣料などが好調で、前年同月上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回りました。新車販売台数はレンタカー需要の一部前倒しなどにより前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は、国や沖縄県発注による大型工事などにより前年同月上回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を下回り、建設資材である生コン、セメントも下回りました。

観光関連では、入域観光客数は22ヵ月連続で前年同月上回り、観光施設入場者数も前年同月上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月上回りました。ホテル客室単価は前年同月上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費において消費税増税に伴う駆け込み需要の反動等による影響が和らぎつつあり、また、建設関連や観光関連では堅調な動きが続いていることから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。(2014年2月に上方修正後から据え置き)



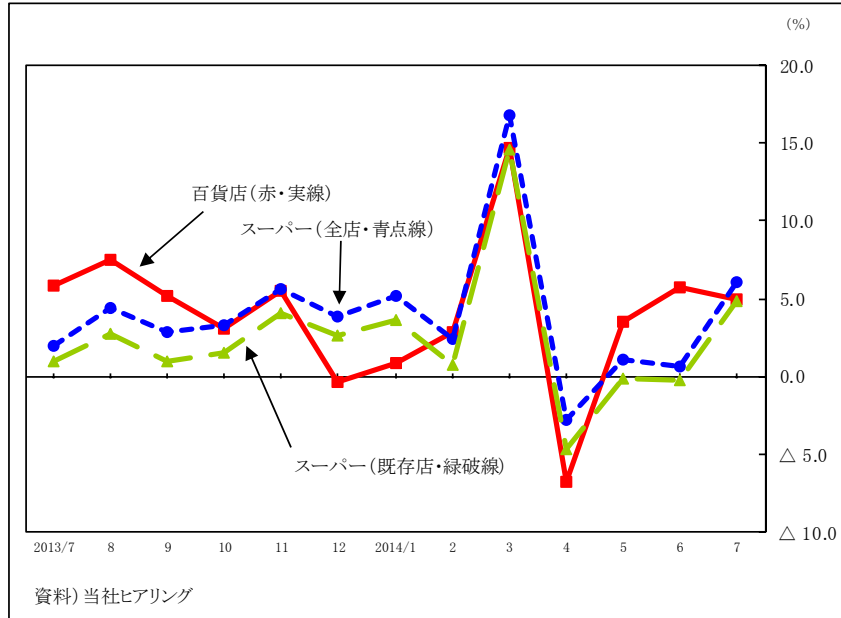


■ 個人消費： (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

	スーパー売上額		百貨店
	全店	既存店	売上額
2013/7	2.0	1.0	5.9
8	4.4	2.7	7.5
9	2.8	1.0	5.2
10	3.3	1.5	3.1
11	5.6	4.1	5.5
12	3.8	2.6	△ 0.4
2014/1	5.2	3.6	0.9
2	2.4	0.8	2.8
3	16.8	14.6	14.7
4	△ 2.8	△ 4.7	△ 6.8
5	1.1	△ 0.1	3.5
6	0.6	△ 0.2	5.7
7	6.1	4.8	5.0

注)前年同月比



7月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は、「全店ベース(前年同月比6.1%増)」が3ヵ月連続で前年同月を上回りました。旧盆の時期が昨年(8/19-8/21)に比べ、今年(8/8-8/10)は早かったことから、一部のお中元ギフト商品需要が7月に前倒しとなり、ウエイトの高い「食料品(同5.4%増)」が前年同月を上回りました。

他方、「既存店ベース(同4.8%増)」では4ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。品目別でみると、ウエイトの高い「食料品(同4.1%増)」は、台風8号の影響により営業日数が昨年より減ったものの、旧盆の時期が昨年より早く、一部のお中元ギフト商品需要が7月に前倒しとなったことなどから、前年同月を上回りました。また、家電を含む「家庭用品(同0.8%増)」はお中元ギフト需要(洗剤など)の前倒しに加え、梅雨明けから白物家電(エアコン、冷蔵庫など)の売れ行きが堅調で前年同月を上回りました。一方、「衣料品(同0.1%減)」は、夏物衣料の売れ行きが低調で、前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、「食料品」や「その他衣料」の売れ行きが好調で、3ヵ月連続で前年同月を上回りました(同5.0%増)。内訳をみると、ウエイトの高い「食料品(同15.2%増)」は旧盆の時期が昨年より早く、一部のお中元ギフト商品需要が7月に前倒しとなったことなどから、前年同月を上回りました。

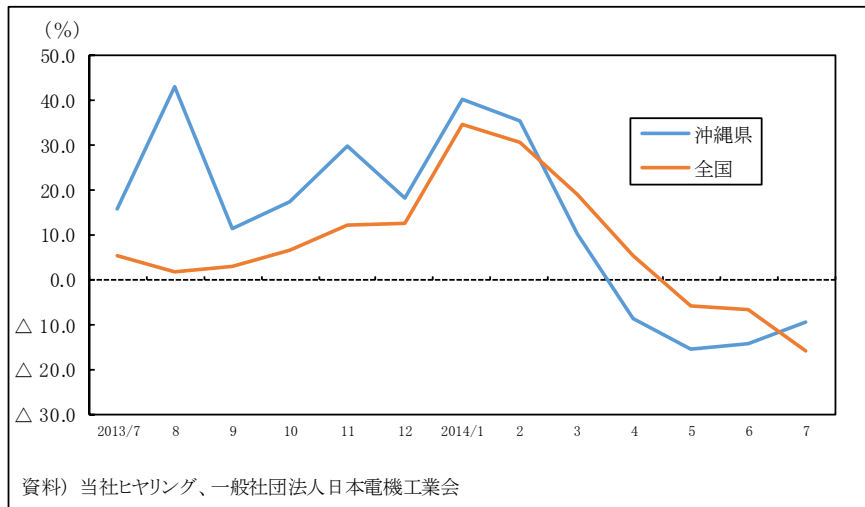
また、「衣料品(同2.5%増)」は、主力商品の「婦人服(同1.6%減)」の売れ行きが低調だったものの、「その他衣料(49.8%増)」が呉服関連の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。「雑貨(同6.6%増)」は、テナント改装による集客効果などにより前年同月を上回りました。一方、「身の回り品(同8.7%減)」は催事の減少などにより、前年同月を下回りました。

②家電卸出荷額…接続保留に伴う太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回る。

単位:%

	沖縄県	全国
2013/7	15.9	5.6
8	43.0	1.6
9	11.3	2.8
10	17.6	6.8
11	29.9	12.3
12	18.2	12.7
2014/1	40.4	34.7
2	35.6	30.6
3	10.2	19.1
4	△ 8.7	5.3
5	△ 15.3	△ 5.7
6	△ 14.2	△ 6.8
7	△ 9.6	△ 15.9

注)前年同月比



家電卸出荷額は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が続く中、太陽光パネルの売上減少なども加わり、4ヵ月連続で前年同月を下回りました(同9.6%減)。品目別でみると、「太陽光パネル(同64.8%減)」が接続保留に伴う売上減少の影響などから、前年同月を大きく下回りました。また、「冷蔵庫(同8.3%減)」「洗濯機(同1.4%減)」なども前年同月を下回ったほか、「テレビ(同6.9%減)」も4Kテレビの需要に落ち着きがみられたことなどから前年同月を下回りました。一方、「エアコン(同9.6%増)」は梅雨明けから売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。

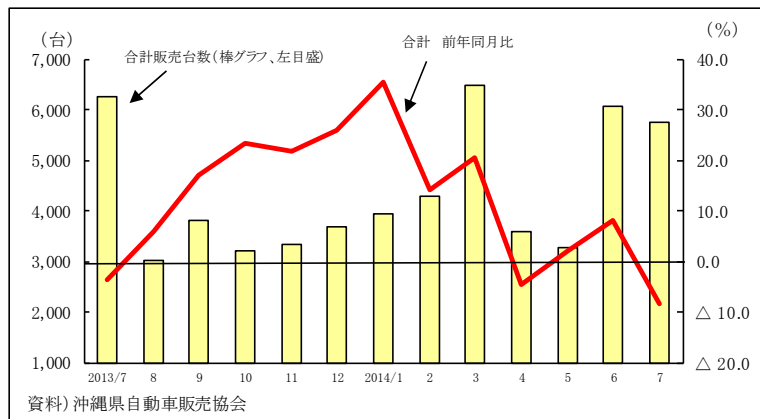
③新車販売台数…レンタカー需要の一部前倒しなどにより前年同月を下回る。

単位:台,%

	台数	合計	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
2013/7	6,267	△ 3.7	△ 7.8	△ 2.4	△ 9.2
8	3,023	5.8	△ 14.3	2.5	6.6
9	3,808	17.2	4.2	24.1	14.6
10	3,226	23.5	37.2	52.4	12.6
11	3,356	21.9	46.3	12.8	16.9
12	3,689	26.1	51.9	24.9	23.7
2014/1	3,929	35.4	54.4	61.6	24.4
2	4,307	14.1	43.0	△ 7.2	17.1
3	6,481	20.5	26.1	23.1	15.8
4	3,590	△ 4.6	△ 12.9	△ 20.3	4.9
5	3,284	2.1	△ 0.9	△ 2.0	5.1
6	6,075	8.1	3.8	3.8	17.9
7	5,756	△ 8.2	15.3	△ 9.9	△ 11.9

注)前年同月比

注)普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。



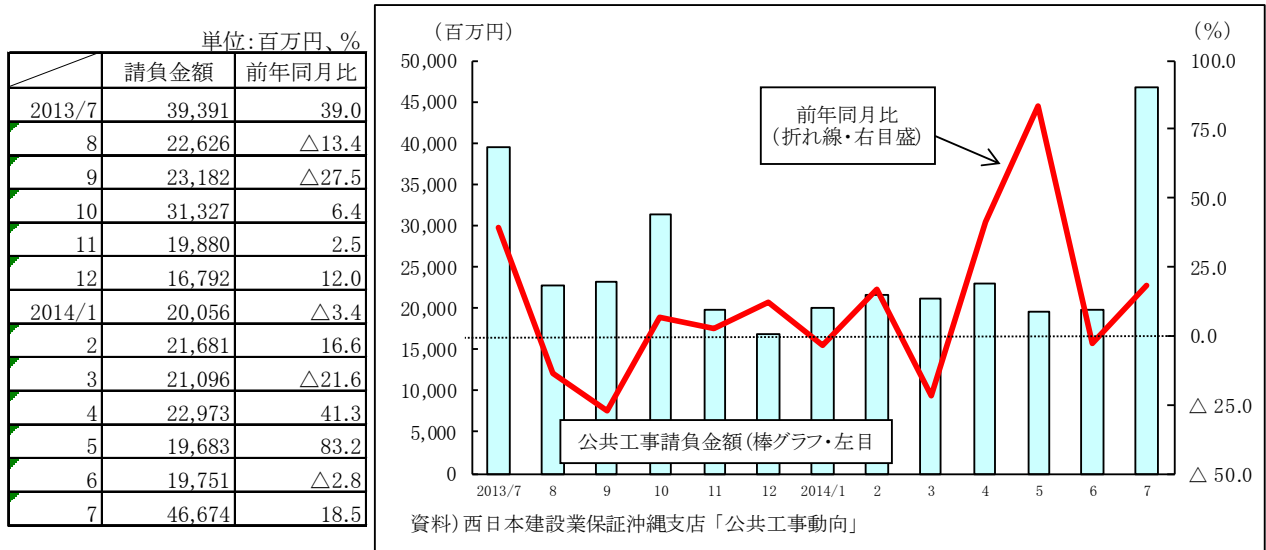
新車販売台数は、全体で5,756台(同8.2%減)となり、一部のレンタカー需要が6月に前倒しとなったことなどから、3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。車種別にみると、「普通乗用車(同15.3%増)」はHV車のレンタカー需要などにより販売台数が伸び前年同月を上回ったものの、「小型乗用車(同9.9%減)」が2ヵ月ぶり、「軽乗用車(同11.9%減)」は12ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



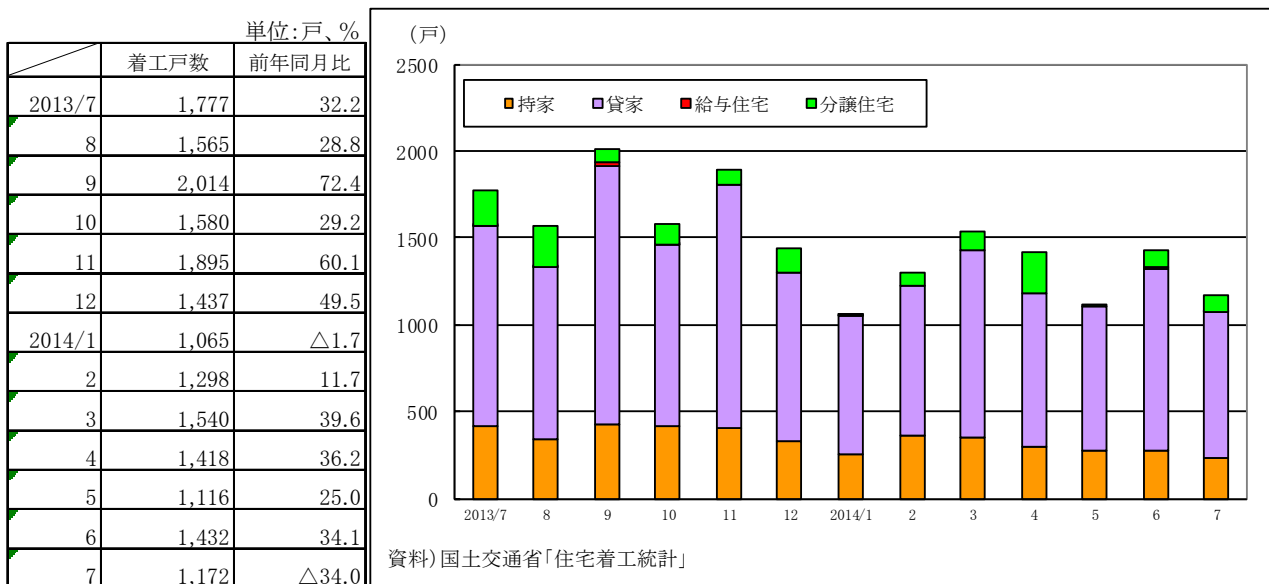
■ 建設関連: (良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。



7月の公共工事請負金額は、前年同月比18.5%増の466億7,400万円となりました(2ヵ月ぶり増)。発注者別でみると、「国(同37.4%増)」は那覇空港滑走路や基地関連工事、「沖縄県(同73.4%増)」は北部での水道関連工事などの大型工事の前年同月を上回りました。一方、「独立行政法人等(同96.0%減)」は沖縄国際センター施設改修工事、「市町村(同1.0%減)」は伊是名村での製糖工場機械設備工事、「その他の公共的な団体(同15.1%減)」は沖縄大学院大学関連工事などの昨年あった大型工事の反動から前年同月を下回りました。

②新設住宅着工戸数等…着工戸数、生コン、セメントのすべてで前年同月を下回る。

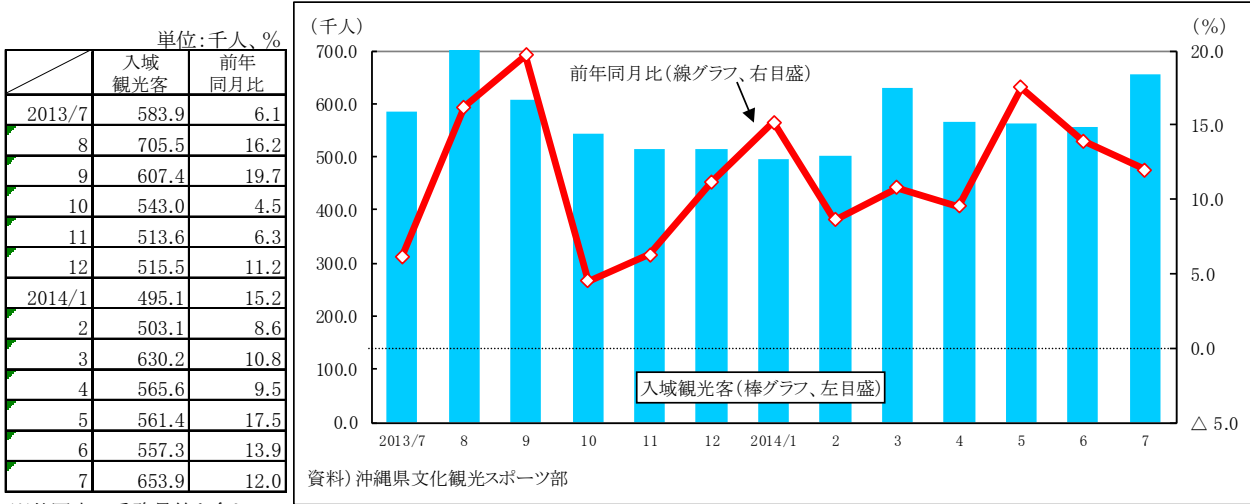


7月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比34.0%減の1,172戸と6ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同26.5%減)」や「持家(同45.2%減)」などが前年同月を下回りました。建設資材関連では、生コンの出荷量は11.1%減少し、2ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より4.5%上回ったものの、民間工事向け出荷は17.0%下回りました。セメントの出荷量は9.3%減と9ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。



■観光関連： (良い)

①入域観光客数…22ヵ月連続で前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

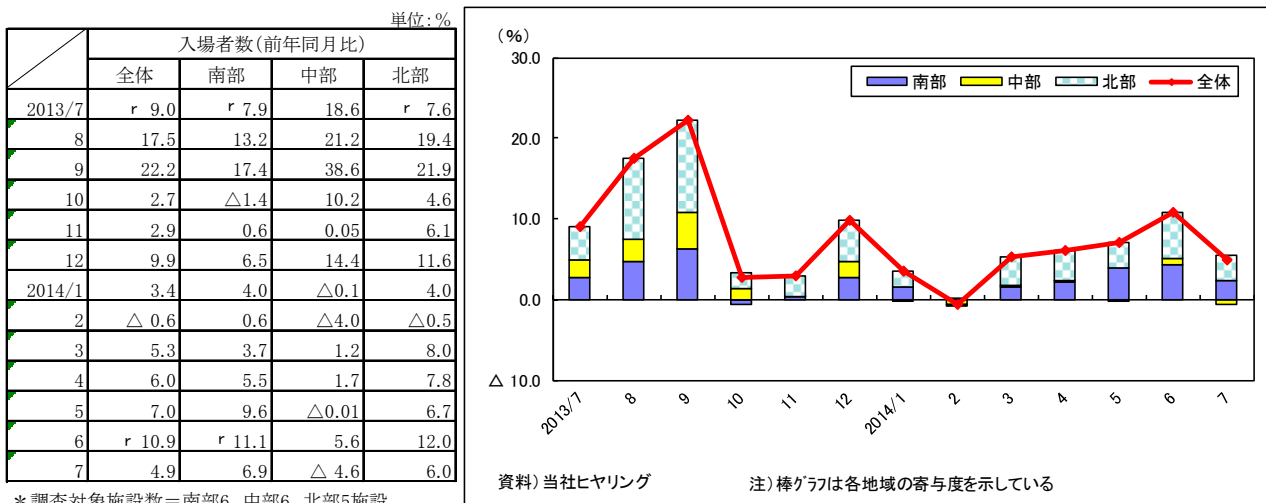
7月の入域観光客数は、70,000人多い653,900人(前年同月比12.0%増)となり、22ヵ月連続で前年同月を上回りました。(7月としては過去最高)

内訳をみると、「国内客(同8.3%増)」は561,600人と上旬に台風の影響があったものの、夏休みの旅行シーズンであったことなどもあり、9ヵ月連続で前年同月を上回りました。他方、「外国客(同41.6%増)」は、92,300人と12ヵ月連続で前年同月を上回りました。国内客同様に台風の影響があったものの、航空路線の拡充やクルーズ船の寄港などにより、空路・海路ともに好調であったことから前年同月を上回りました。

「台湾(同19.5%増)」「韓国(同30.8%増)」「中国本土(同181.5%増)」「香港(同33.3%増)」

※乗務員等を除く2014年7月実績＝全体643,000人(同11.8%増)、外国客81,400人(同44.3%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…5ヵ月連続で前年同月を上回る。



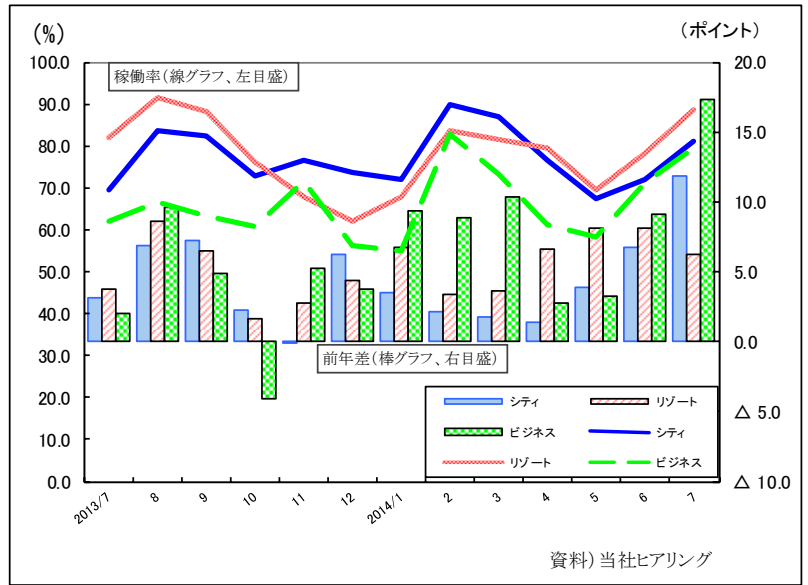
*調査対象施設数＝南部6、中部6、北部5施設

観光施設入場者数は、全体で前年同月より4.9%増加(5ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同6.9%増と9ヵ月連続、北部は同6.0%増と5ヵ月連続で前年同月を上回り、中部は同4.6%減と2ヵ月ぶりに下回りました。

③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2013/7	69.4	82.1	62.0	3.1	3.8	2.0
8	83.8	91.7	66.7	6.9	8.6	9.6
9	82.4	88.0	63.3	7.3	6.5	4.9
10	73.0	76.2	60.6	2.2	1.6	△ 4.1
11	76.6	67.7	71.6	△ 0.1	2.7	5.2
12	73.7	62.0	56.4	6.3	4.4	3.7
2014/1	72.0	68.0	55.1	3.5	6.8	9.3
2	90.0	83.5	82.9	2.1	3.4	8.9
3	86.8	81.7	73.3	1.8	3.6	10.3
4	76.5	79.5	61.2	1.4	6.6	2.7
5	67.4	69.4	58.5	3.9	8.1	3.3
6	72.1	78.3	71.0	6.7	8.1	9.1
7	81.2	88.4	79.3	11.8	6.3	17.3



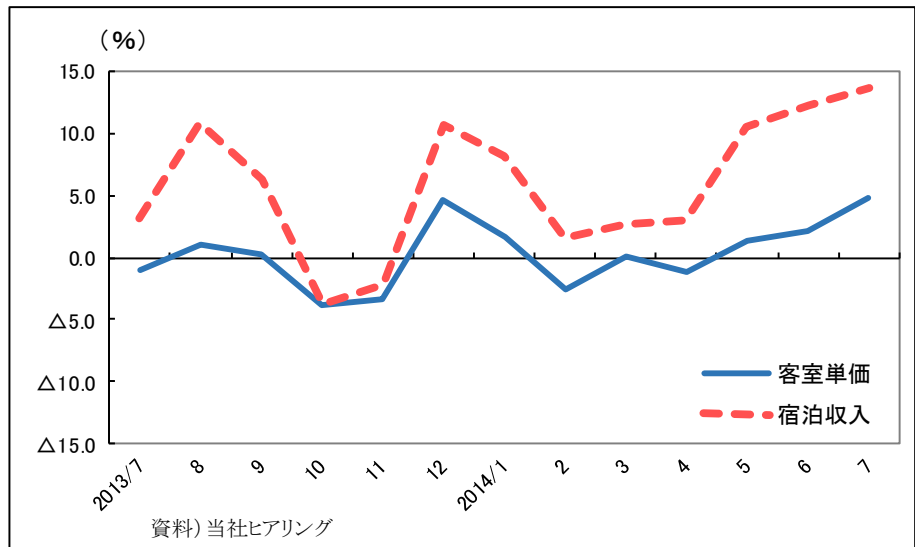
注)シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが81.2%と11.8ポイント上昇(8ヵ月連続)、リゾートホテルが88.4%と6.3ポイント上昇(19ヵ月連続)、ビジネスホテルが79.3%と17.3ポイント上昇(9ヵ月連続)しました。

④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2013/7	△1.0	r 3.1
8	1.0	10.8
9	0.3	6.3
10	△3.8	△3.8
11	△3.4	△2.1
12	4.6	10.6
2014/1	1.6	8.1
2	△2.6	1.5
3	0.1	2.7
4	△1.2	3.0
5	1.3	10.5
6	2.1	12.2
7	4.8	13.6

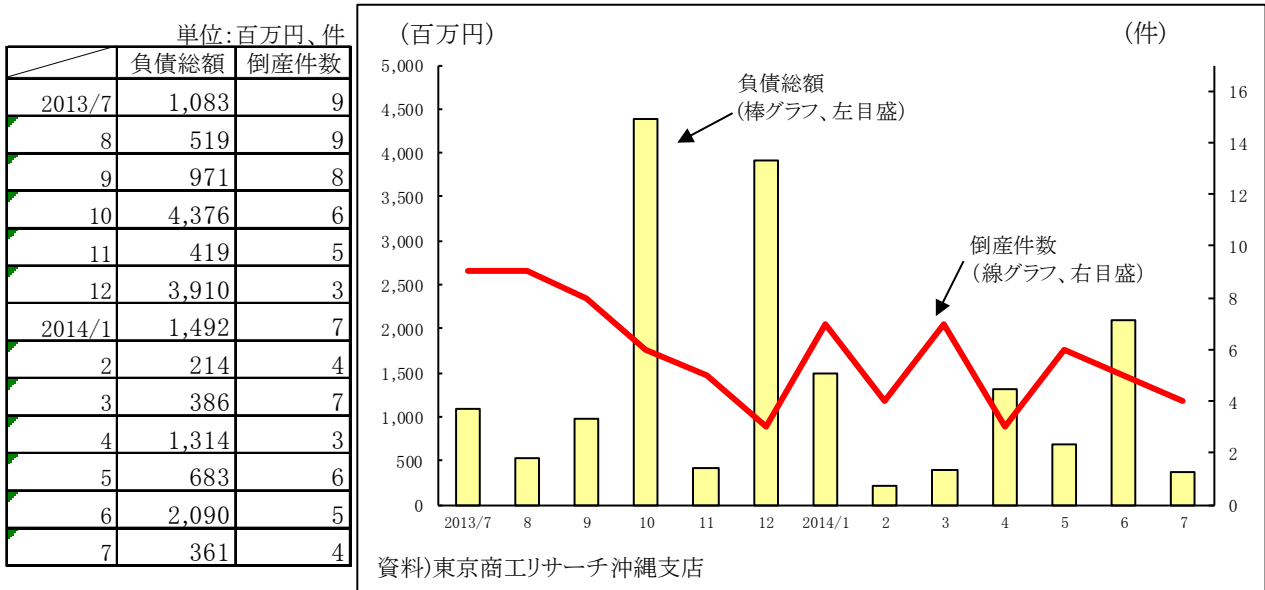


※対象施設数:29施設(シティ10、リゾート19)、ビジネスは除く
※客室単価は29施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする
※2014年4月指標より新たに掲載

ホテル客室単価(シティ&リゾート)が前年同月比4.8%増と前年同月を上回ったほか、稼働率の上昇等により宿泊収入も同13.6%増と前年同月を上回りました。

■企業倒産： (ふつう)

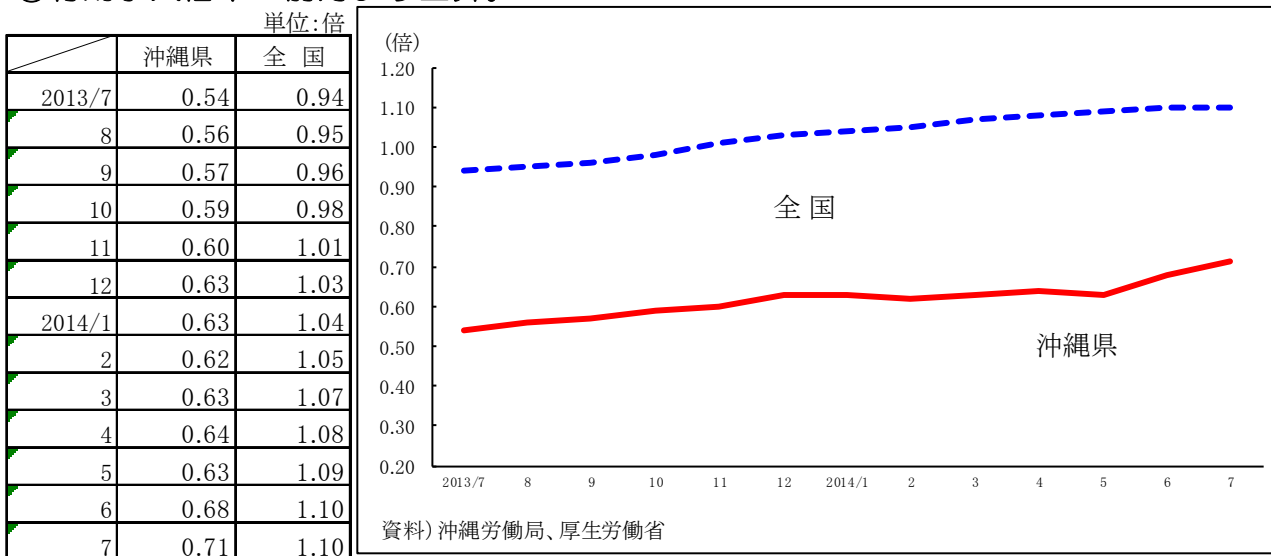
企業倒産…件数、負債総額ともに前年同月を下回る。



7月の**企業倒産件数**は、4件(うち、10億円以上の大型倒産が0件、1億円以上の大口倒産2件)発生し前年同月より55.6%減少し、負債総額は3億6,100万円と66.7%減少しました。

■雇用関連： (やや良い)

①有効求人倍率…前月より上昇。



注) 季節調整済

注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

7月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比2.9%増の20,341人に対して、月間有効求職者数(同上)は同1.9%減の28,620人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.71倍となり前月より0.03ポイント上昇しました。完全失業率(原数値)は前年同月より0.1ポイント低下し、6.0%となりました。

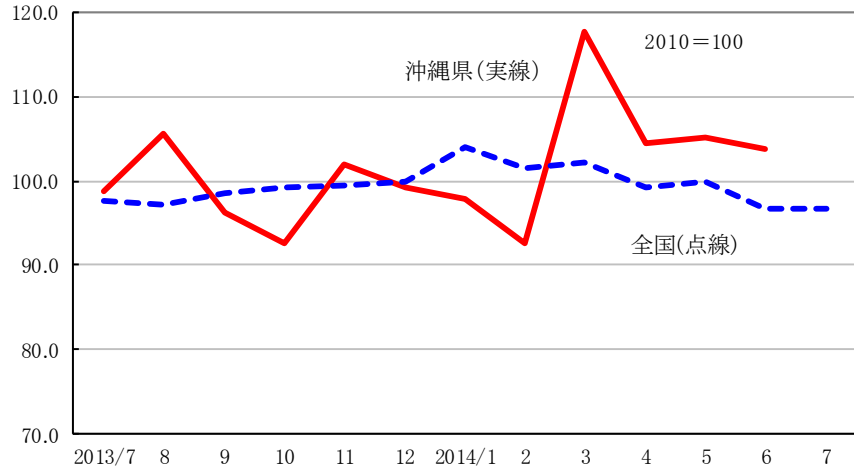


■ 鉱工業・大口電力関連: (ふつう)

① 鉱工業生産指数(6月)…前月より低下。

	沖縄県	全国
2013/7	98.8	97.6
8	105.5	97.1
9	96.3	98.6
10	92.6	99.2
11	101.9	99.5
12	99.3	100.0
2014/1	97.9	103.9
2	92.6	101.5
3	117.6	102.2
4	104.5	99.3
5	105.2	100.0
6	103.7	96.6
7	-	P 96.8

注) 数値は季節調整済指数



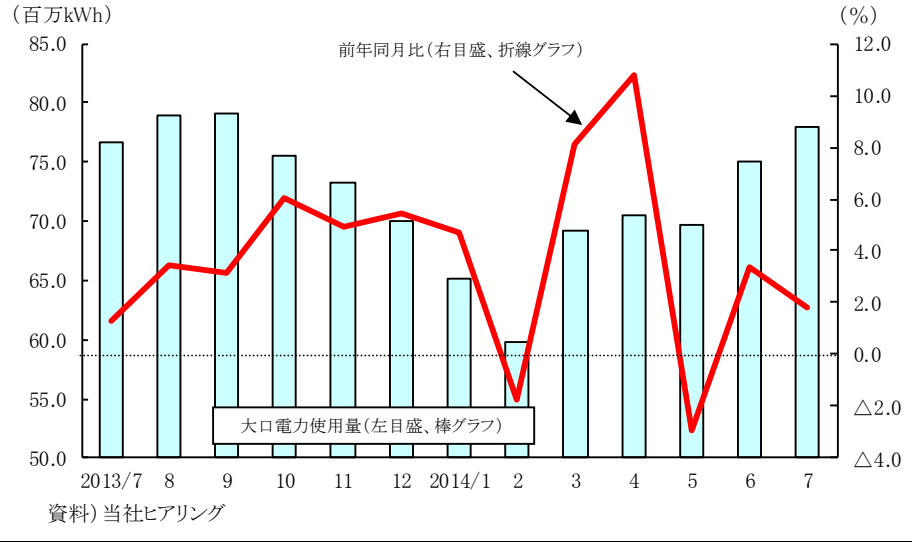
資料) 沖縄県統計課「沖縄県鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業指数」

鉱工業生産指数(県内:6月)は、前月より1.4%低下し、103.7となりました。産業別にみると、「食品工業(同7.9%減)」や「パルプ・紙・紙加工品工業(同5.1%減)」、「窯業・土石製品工業(同5.0%減)」等の業種で前月を下回りました。

② 大口電力使用量…前年同月を上回る。

単位: 百万kWh、%

	大口電力 使用量	前年 同月比
2013/7	76.6	1.3
8	78.9	3.4
9	79.2	3.1
10	75.5	6.0
11	73.3	4.9
12	70.0	5.4
2014/1	65.1	4.7
2	59.7	△1.8
3	69.2	8.1
4	70.5	10.8
5	69.7	△2.9
6	75.1	3.4
7	78.0	1.8

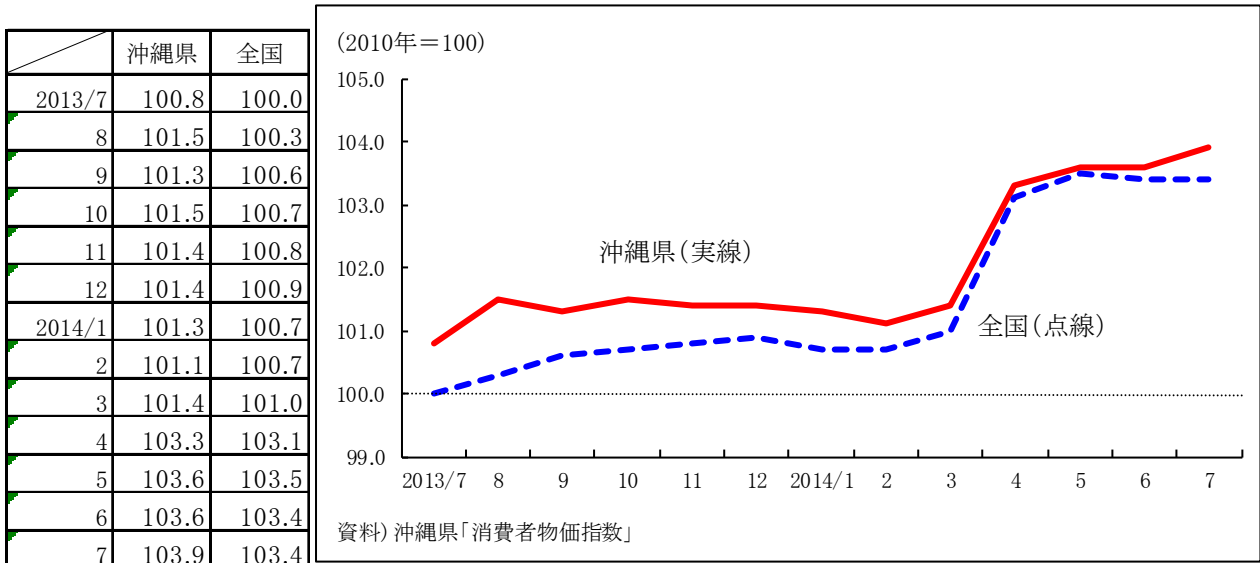


資料) 当社ヒアリング

7月の大口電力使用量は、「化学工業製造業(同11.8%減)」が生産量減少により前年同月を下回ったものの、「石油・石炭製造業(同163.7%増)」が前年の工場稼働減の反動増などから大きく上回り、全体では1.8%前年同月を上回りました。

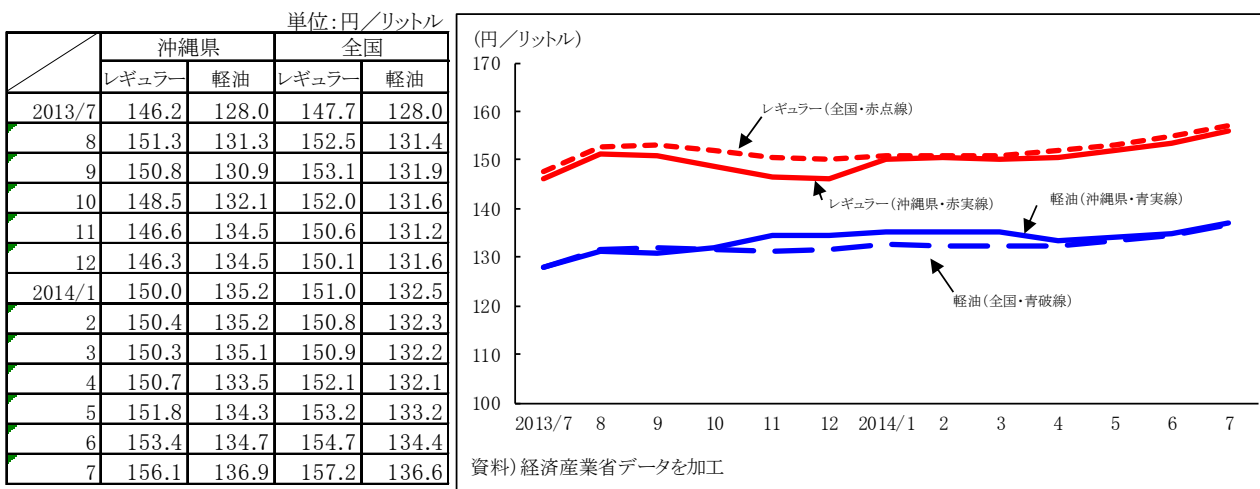
■物価関連:  (ふつう)

①消費者物価指数…前年同月を上回る。



7月の消費者物価指数(総合)は、前年同月比3.0%上昇し、103.9となりました。内訳をみると、調理食品を含む「食料(同4.0%増)」や自動車等関係費を含む「交通・通信(同3.5%増)」などが全体を押し上げました。

②ガソリン小売価格(税抜き)…前年同月を上回る。



注) 各月次データは、週次調査結果の平均値を用いている。
注) 本データについて消費税率引き上げに伴い、当月より税抜き価格を表示している。

7月のガソリン小売価格等(税抜き)において、県内におけるレギュラー小売価格は前年同月より6.8%上昇し、軽油小売価格も前年同月より7.0%上昇しました。